

# 【技術・家庭（技術分野）・中学2年 D:情報の技術 コンピュータと情報処理】

## 授業の見所

電子ホワイトボードツールを活用して

- ①機器やアプリについてまとめたレポートを発表する。②意見交流をする。

つかむ	追究する	まとめる
✓	✓	

<本時のねらい>

ハードウェアやソフトウェアなどのコンピュータに関わるものの役割について知り、それらが社会にどのような影響を与えているか考えよう。

## 【つかむ】作成したレポートを発表する（電子ホワイトボードツール）

- T : 前時にまとめた「私が調べた機器やアプリ」について各班で発表しよう。メリットやデメリット、それによって生活がどう変わったかを、考えながら行いましょう。
- S1 : いろいろなところでコンピュータが使われ、用途に応じたアプリがあるんだな。ファーストフードの配達もスマホとアプリがあれば、注文が簡単にできて便利だね。お店も自動で注文を受け付けているからわかりやすいんだね。

■電子ホワイトボードツールを活用し、前時に30分程度で仕上げたレポートを、本時の冒頭で発表しました。追究活動に向けて、**生徒一人一人が視点を広げることができました**。手書きだと時間がかかるレポート作成も、**ICT端末を使うと短時間で見栄えよく仕上げるのが可能**です。



【発表の様子】

【プラスポイント】  
プリントの穴埋め問題を電子ホワイトボードツールを使って



## 【追究する】意見を出し合い、話し合う（電子ホワイトボードツール）

- T : 「ドローン」を例に、ハードウェアやソフトウェア（アプリ）について、必要なものを挙げ、その発展がもたらす良い面や課題点、改善策について各班で話し合ってみよう。
- S2 : 良い面は人手が少なくて済むことかな。
- S3 : 課題点は人が届けるより信用度が少ないことだと思う。

■電子ホワイトボードツールの**付箋を活用**し、「良い面」「課題点」についてまずは**班員各々が意見を出しました**。その後、**班で話し合い**ながら、意見を整理し、どのような「改善策」があるか相談しながら考えました。



【班内での意見交換中の画面】

(全体共有の場面で、出された意見を取り出しながら)

- T : 課題点の中で、「ドローンの衝突事故を防ぐためにセンサを付けて衝突回避プログラムを組む」とあったけど、他にも改善することはあるかな？
- S4 : ドローンに関する法律を作って管理していくことが大切だと思います。

■電子ホワイトボードツールの各班の画面を大型TVに提示し、**全体で共有**しました。また、**教師は意見に対して問い返し**をしながら、**生徒の考えを深めて**いきました。



【全体で共有している様子】

技術・家庭【技術分野】では、**電子ホワイトボードツール**をノートとして使用し、**プリント学習・レポート作成・話し合い**にと幅広く活用することに積極的にチャレンジしていました。